

## 1. 実績と現状（令和5年度）

図書館では図書・資料の収集に関して、書籍等の出版状況や市民の関心の変化を踏まえながら、資料の収集を行っています。また、企業版ふるさと納税制度を活用し、移動図書館用の資料の充実を図り、新たなサービスポイントでの貸し出しを開始したところです。

## 収集数の経過

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
雑誌収集数	172誌	171誌	178誌
図書購入冊数	9,695冊	10,041冊	10,346冊

※R5 ふるさと納税による222冊を含む

## 貸出冊数の経過

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
貸出冊数	532,651冊	499,156冊	492,033冊
市民一人当たりの貸出冊数	7.6冊	7.1冊	7.0冊

貸出冊数については、コロナ禍による来館者数の減少や近隣図書館環境の変化などにより減少の傾向にあります。

このような状況に対して、図書館では子どもの読み聞かせの関心が高まる中、移動図書館の訪問先の拡大、出張絵本講座の開催など来館しにくい子どもたちや家庭に向けた事業を始めることで利用拡大に取り組んできました。また、西館では新型コロナウイルス感染症対応地方創生交付金を活用し、新聞閲覧機を設置し閲覧コーナーをリニューアルし、利用者の利便性向上に努めました。

また、平成15年度からは図書の貸出の利便性向上の一つの取り組みとしてインターネットサービスを開始しました。これは図書館のホームページでログイン登録することで、ネットから蔵書検索、貸出予約ができるものです。

## 2. 課題

課題の1点目については、前述の通り、貸出冊数が年々減少している点が喫緊の課題と考えております。この貸出冊数への対応については、以前より図書館として様々なサービスの向上や各種イベント啓発などにより改善に向けて取り組んできましたが、今後のあらたな見直し部分については休館日の在り方と考えております。図書館(本館・西館)では、平成21年度からの財政再構築プログラム等による人員削減等の理由により、休館日を週2日(月曜日と火曜日)としました。これは、当初職員の削減となったことから、勤務シフト上週6日開館することが困難であったことによるものです。しかし、近隣市の図書館では週1日(月曜日)の館が多く、市民や利用者からは開館日拡大に対する要望も多く寄せられ、市長からも週休日1日を目指すことを指示されています。図書館においてもこの休館日の見直しについては継続的に検討を続けてまいりました。そのような中、今後においては貸出事務の軽減が図れるセルフ貸出機を西館では令和7年1月に導入し、本館は令和7年度に導入に向けて取り組んでおり、休館日の見直しについて一定の条件を整えているところです。

課題の2点目の予約冊数については、インターネット予約サービスについては、当初は貸出し促進のための取り組みとしたため、1回での予約可能冊数を無制限としておりましたが、普及とともに大量予約の件数が増え続け、他の貸出し業務への圧迫や、公立図書館における公平な資料収集に影響を及ぼす状況になってきました。このサービスは元来多くの市民に広く公平に資料の提供ができ、併せて貸出し効率の向上により一人当たりの貸出冊数の増加を図るものですので、予約可能冊数の見直しが求められてきているところです。

また一方で、貸出冊数は一人一回につき15冊(3週間)となっておりますが、近年多様化する市民ニーズに対応するため、この冊数についても見直し・拡大に向けての検討が必要となっております。

## 3. 見直し案

### 1. 休館日の見直し「栗東市立図書館管理運営規則」(昭和62年3月23日教委規則第5号)

(第8条第2項第3号及び第3項第1号)

変更前 月曜日及び火曜日

**変更後 月曜日**

### 2. 予約冊数の見直し(予約冊数と貸出冊数を一本化する)

(第13条第1項)

変更前 15冊

**変更後 30冊**

《県内図書館参考》

休館日	週休1日	週休2日
館(19市町+県)	11館	9館(県)

貸出冊数	無制限	30冊	20冊	15冊	10冊
館(19市町+県)	4館	5館	2館	8館	1館(県)

予約の制限 回答のあった13市町図書館で12市町が何らかの冊数制限あり

#### 4. 休館日の変更のための対策

- ・自動貸し出し機の設置 各館3台 (合計6台)  
設置費用 3台 721千円(本館分)
- ・会計年度任用職員 司書6名→7名  
月額司書 (報酬)197,787円×12=2,373,440円  
(期末勤勉) 909,820円
- ・職員の交代勤務 (別紙)

#### 5. 期待できる効果

##### 1. 休館日

- ・開館日が週1日増えることで、市民の図書館利用の利便性が高まる  
年間約40日増加
- ・園、校からの来館等の対応可能日が週3日から週4日になり利用機会が拡大
- ・学習コーナーの利用機会が増える
- ・ボランティア団体の活動日が増える
- ・開館日がわかりやすい

##### 2. 予約、貸出冊数

- ・利用方法のわかりやすさ、利便性の向上
- ・一部の利用者に偏るサービスの是正
- ・バランスの取れた蔵書構成

## 6. 市民への周知

令和7年2月下旬

・館内掲示、図書館 HP、広報りっとう(3月号)により周知

## 7. 今後の予定

令和6年11月27日 総合調整会議

令和7年1月 令和7年度当初予算案

令和7年2月14日 定例教育委員会（栗東市立図書館管理運営規則の変更について）

令和7年2月20日 議会説明会

令和7年4月 施行

火曜開館した場合の人員表

【基本想定】

\*表に記載はカウンター業務に当たる人員のみ。館長、会計年度任用職員（事務補助、司書補助）は表に含まない

\*休みは火・土・日で交代／金曜は正規職員は全員本館出勤を想定／西館は3人出勤、行事日のみ別途検討

\*無印は本館出勤

	正規職員							会計年度任用職員										人数合計		
	1	2	3	4	5	6	7	司書（経験者）			司書									
	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	1	2	3	4	5	6	7(増)	本館	西館	休
火	休	●		休			休	休		●	休	休					●	8	3	6
水				●						●						●		14	3	
木		●								●					●			14	3	
金										●			●	●				14	3	
土		休			休	●			休	●		●	休	休				9	3	5
日		●	休			休		●		休	●				休	休	休	8	3	6